

トルコギキョウ二度切り栽培における 二番花収穫の早進化技術の検討（電照効果）



遠赤色 LED (FR)

(光源の種類)

735nmLED × 15 個 1W アスター株式会社製

(処理方法)

日没後3時間照射。うね面から1.5mの高さで3m間隔に設置。電照期間は1番花収穫後の2019年12月20日から2番花収穫時まで。

赤青 LED (赤青)

(光源の種類)

赤:青=4:1のLEDが埋め込まれたロープ型のライト

(処理方法)

日の出から日の入りまでの日中に照射。各うね2本、株間の成長点付近に設置。照射期間は1番花開花時の2019年10月25日から2番花収穫時まで。

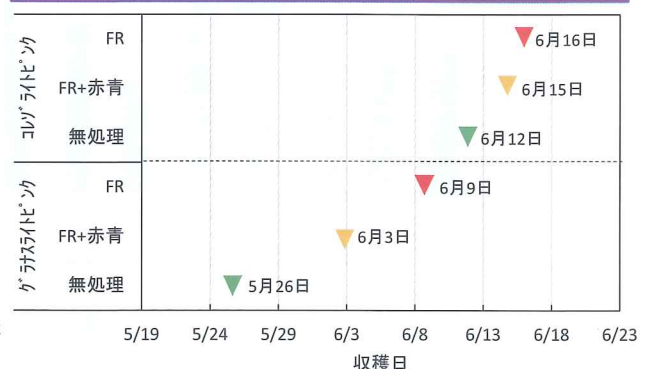
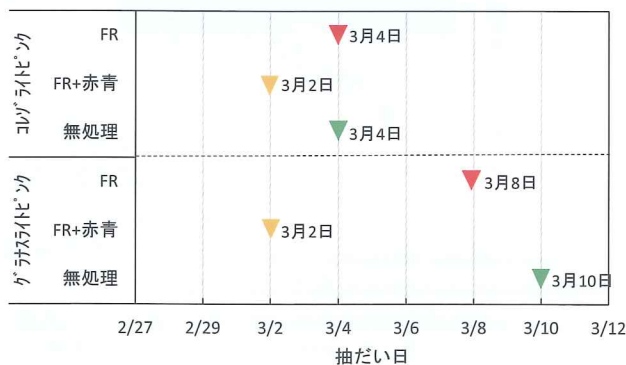


図 各品種の抽だい日および収穫日(2020年)

注 1) 調査株数は無処理区40株(20株×2反復)、FR区、FR+赤青区80株(40株×2反復)、ただしコレゾライトピンクのFR+赤青区は40株(反復無し)。2019年8月23日定植。

2) 抽だい日は1番花採花後の切り下株から発生した、節間が1cm以上伸長した芽が2芽以上認められた日。

3) 収穫日は頂花および頂花着花節からの側枝の1次および2次小花を摘蕾して3次小花を開花させ、これと各側枝の小花が同時期に咲き揃い収穫した日。

県内のトルコギキョウの二度切り栽培では、年内に一度収穫し、残り株から再生した新芽を仕立て、5～6月に二度目を収穫しています。当センターではこの二度目の収穫時期を、高単価が見込める5月内を目標に早進化する技術の開発に取り組んでいます。

今回は電照と補光の効果を見るため、中生品種のグラナスライトピンク、中晩生品種のコレゾライトピンクを用いて、遠赤色LED(FR)のみ照射のFR区、FRと赤青LEDを組み合わせ照射したFR+赤青区、電照を行わない無処理区を比較しまし

た。その結果2番花の抽だい日はいずれの品種もFR+赤青区で早く、収穫日はFR区、FR+赤青区が無処理区より遅くなる傾向が見られました(図)。高知県以外の冬期寡日照地域においては遠赤色光照射による開花促進効果の報告がありますが、今回の試験では効果が認められませんでした。電照効果について遠赤色LEDを用いて再度検討を行う予定です。

なお本研究は地方大学・地域産業創生交付金事業により実施しました。

(花き担当 山田美保江 088-863-4918)